

# 難病児とご家族に夢の旅行を

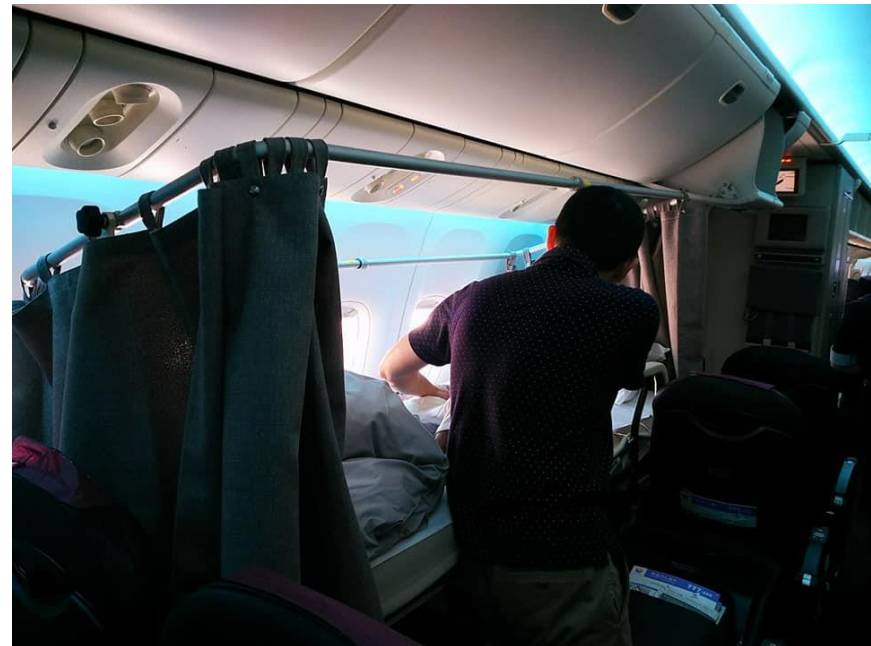
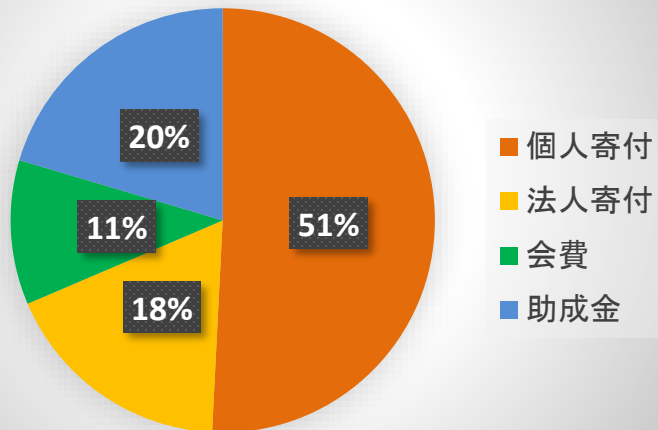
医療者向け情報発信とWEBを通じたサポーター施策の実施



公益社団法人ア・ドリームア・デイINTOKYO  
津田和泉

- ・個人サポーターの裾野を広げる: 団体の収益に占める寄付者数を100名に。
- ・医療者の参加(10名の移動同行医師)と協力(旅行中の搬送協力先の確保)
- ・ご家族の声をデータ化・更新
- ・事務局体制の強化

## 2018年度の資金



## 1) 医療関係者との連携強化

- ・学会へのブース出展(11月:小児血液がん学会)
- ・協力クリニック、同行ボランティアの説明
- ・**広報物作成**
- ・**協力の依頼**

## 2) サポーターの増員

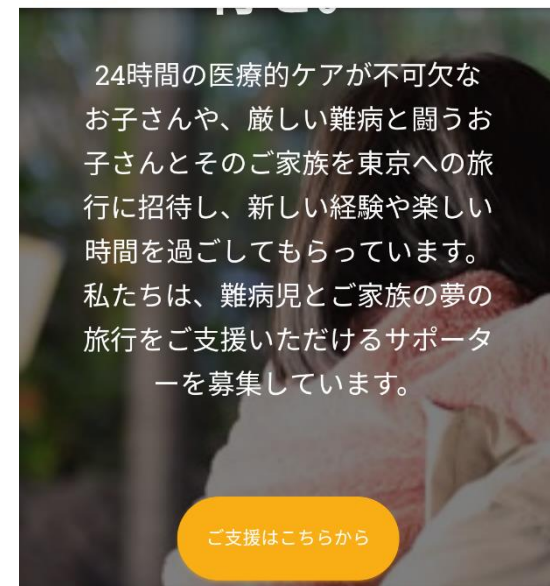
- ・クレジット寄付機能 <http://guesthouse.or.jp/howtosupport/>
- ・ランディングページ作成 <https://dreamtokyo.official.jp/>
- ・**情報拡散・アクセスの増加**

## 3) 事業の見える化

- ・ご家族にアンケート郵送
- ・**ご家族へのインタビュー**
- ・**記事と動画作成・公開**

## 4) 事務局体制の強化

- ・ITスタッフ1名
- ・**サポーターの増員**



## 1) 医療関係者との連携強化

- ・協力クリニックの内諾3件
- ・ボランティア希望の医師1名

## 2) サポーターの増員

- ・クレジット寄付微増・・・  
マンスリーサポーター3名、単発の寄付2名

### ・副次的な効果

問い合わせ・企業寄付の増加  
ボランティア営業マンの奮闘

## 3) 事業の見える化

- ・ご家族の写真のインパクト
- ・応援団の様子が呼び水

## 4) 事務局体制の強化

- ・ボランティアが営業マン！



## 1) 医療関係者の参加（なかなか増えない）

- ・ 若手の小児科医 = 時間がない
  - ・ ベテランの小児科医 = 体力がない
- 若手医師の研修の場として  
アピールできないか。

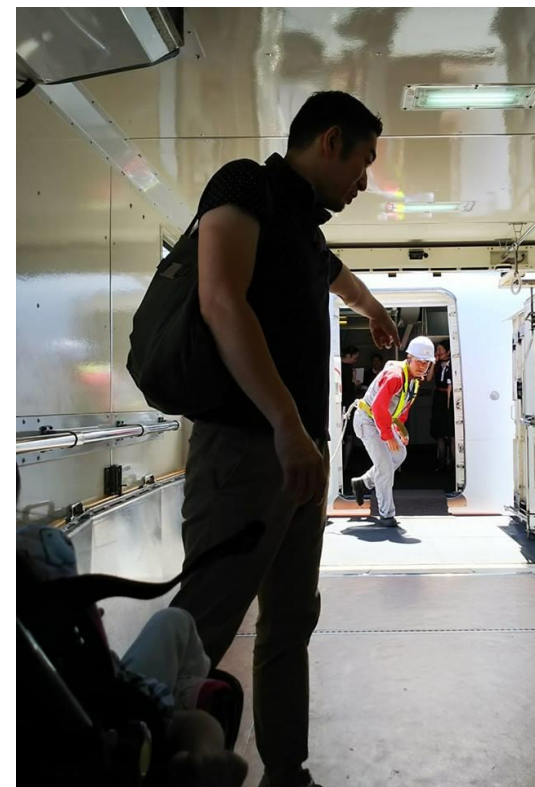
参加することの意義を入念に伝える？

## 2) 家族の声が集まりにくい

- ・ 前向きでパワフルなご家族ばかり  
ではないことを忘れてはいけない。

前向きな気持ちになれなくても  
よい社会を作ることが使命

感動や数値を追い過ぎない？



24時間介護・常に  
寝不足の病児母に  
負担を掛けない方法  
で声を集めるのが  
次の課題。